

ベトナムの昔話における「蛇婿」

グエン テイ テウエット ニュン

The Stories of Snake Grooms in Vietnamese Folktales

NGUYEN Thi Tuyet Nhung

In Vietnam, many stories tell about the marriage of the snake and the human where the snakes appeared as grooms. These stories developed in various patterns, but most of them end with a happy ending where the snake and the human woman have a happy life. These marriages represent the Vietnamese dreams of an ideal marriage and their view of animals and nature. Snakes symbolize perfect marriage partners, and the marriage with snakes represents a dream of getting closer to nature so that the Vietnamese can live a better life. These stories also reflect the Vietnamese idea that bad people learn a lesson for themselves, contrary to the fact that good people can always have a good ending.

Keywords: Vietnamese Folktales, Snake groom, Motif composition, Cultural background, View of animals

キーワード：ベトナム昔話、「蛇婿」、モチーフ構成、文化背景、動物観

はじめに

蛇は昔から人間の関心の対象になり、文学や宗教、芸術などの様々な面で題材として取り扱われ、世界の様々な文化で顕著な役割を演じてきた。従って、蛇に関する故事、神事、民話などは、古代から各時代にわたって豊富にある。蛇と人間との愛と結婚は民話の一つの主題として世界中に伝わっており、ベトナムにも広がっている。特に、蛇が男としてあらわれ、人間の女性と結婚するという「蛇婿」物語はベトナムの各地で数多くみられる。

日本では、異類婚姻譚に登場する動物婿全体のうちで、蛇婿の占める割合は60%であり、蛇婿の物語は340話も存在している。また、北海道を除き、日本の全国に分布している¹⁾。ベトナムの場合では、蛇

1) 中村とも子・弓良久美子・間宮史子「異類婚姻譚に登場する動物—動物婿と動物嫁の場合—」84頁。

婿物語の数は、現在、公式な統計が未だ存在していないため、正確な数字は不明である。しかし、日本ほど多くないが、動物婿全体のうちで、出現率が高い動物の一つだと考えられる。また、北部山岳から中部高原、南部に至るまで、そしてキン族から少数民族まで幅広く語られている。

本稿では、ベトナムの蛇婿物語を収集し、整理したうえで、このような物語のモチーフ構成を分析し、ベトナム人の蛇への動物観と物語に編み込まれる文化背景を明らかにすることを目的とする。

一 ベトナムにおける蛇婿についての先行研究

ベトナムでは、蛇物語に触れる研究は少なくはないが、「蛇婿」についての単独な研究はほとんどみられないというのは事実である。ほとんどの研究では、異類婚姻譚に登場する動物の全体を考察し、蛇婿はその一部分になってしまうか、蛇婿は蛇物語の一つのモチーフとして研究される、という場合が多い。その中、Nguyễn Thị Huế (1999) の *Nhân vật xấu xí mà tài ba trong truyện cổ tích Việt Nam* と Trần Minh Hoàng (2017) の *Hình tượng rắn trong truyện cổ dân gian Việt Nam* という二つの研究を例として挙げることができる。

Nguyễn 氏は、動物の姿を持ち醜い外観をもちながらも、特異な才能があるキャラクターについて語る物語に焦点を当て、考察を行った。調査した様々なモチーフを通じ、鼯、蟾蜍、猿、亀、山羊などの他の動物とともに、蛇もこのモデルの人気のある動物として言及されている。著者によると、この物語に登場するキャラクターは、だいたい「人間と神様との奇妙な結婚の結果」、または「神様に関係がある」というのである²⁾。大まかに言えば、これは熟考された研究であるため、これらの研究結果を参考にして継承し、蛇婿の物語に登場するキャラクターの特性について分析する。

Trần 氏は、蛇の姿を持つキャラクターが登場する物語の26話を収集し、紹介した。この研究では、著者は物語を幸福な結末と、それでない結末という二つのモチーフに分けている。それにより、動物の姿を持つキャラクターすべてについての物語の共通点を指摘しながら、蛇のキャラクターの特性を述べている。それだけでなく、著者はキャラクターを蛇の姿で登場する物語の展開と構造についても言及している。キャラクター登場から、誰に会うか、求婚したときどのように断られるか、結婚相手はどのような人間であるか、どんな難題に合い、またその難題をどのように超えるか、どのような才能を発揮するかについても分析されている³⁾。この考察結果も、本稿で蛇婿の物語を分析するとき、貴重な参考になると考えられる。

2) Nguyễn Thị Huế *Nhân vật xấu xí mà tài ba trong truyện cổ tích Việt Nam* (ベトナムの昔話における醜い外観を持ちながら特異な才能があるキャラクターについて) Hà Nội: Khoa học xã hội 1999

3) Trần Minh Hoàng *Hình tượng rắn trong truyện cổ dân gian Việt Nam* (ベトナムの昔話における蛇のイメージ) Hà Nội: Hội Nhà Văn 2017

二 ベトナムの「蛇婿」物語のモチーフ構成

日本では、蛇と人間との愛と結婚について語る物語は、「蛇婿入」や「蛇女房」などであるが、前者は婿として現れる蛇と人間の女性の婚姻、後者は嫁として現れる蛇と人間の男性の婚姻に関するものである。中村ら(2001)の調査結果によれば、婿対嫁の比率は二対一であるという。つまり、蛇女房より蛇婿入の方が豊富である⁴⁾。ベトナムは日本と同様、人間との婚姻について語る物語に関しては、蛇が嫁より婿として現れる方が多くみられる。しかも、各話型のモチーフに関しても、嫁より婿の方が豊富であり、日本の「蛇婿入」の話型と相違する部分もある。そのため、本稿では、婿としてあらわれる蛇と人間の女性との婚姻についての物語に焦点をあて、考察していきたい。

婿としてあらわれる蛇と人間の女性との婚姻について語る物語は、「蛇婿」や「蛇郎」など呼ばれているが、本稿では、便宜上、「婿蛇」と統一する。全国に分布しているベトナム主要民族であるキン族と、北部や中部、中部高原に住居しているムン族やコツ族、ジャライ族などの様々な少数民族で伝わっている蛇婿に関する民話集と先行研究から、表1で示しているように、この話型の22話を集めてきた。

表1 ベトナム各民族の蛇婿物語

	物語のタイトル	分布民族
1	Hoàng tử rắn và nàng hoa sen (蛇王子と蓮花娘)	キン族
2	Hoàng tử rắn (蛇王子)	キン族
3	Người con gái thần rắn (蛇神の娘)	キン族
4	Trầu cau (チャウとカウ)	コツ族
5	Chuyện chàng Đu lơ (Đu lơのおはなし)	コツ族
6	Hoàng tử rắn (蛇王子)	サンチャイ族
7	Chàng rắn (蛇郎)	サンチャイ族
8	Chàng rắn (蛇郎)	ジャライ族
9	Cô gái lấy chồng rắn (蛇を婿にする女性)	ソダン族
10	Vợ chàng rắn (蛇の女房)	タイ族
11	Bơ lô Đu lơ (ボロヂェウロ)	タオイ族
12	Trần thần (蛇神)	チャム族
13	Chàng rắn (蛇郎)	チャム族
14	Chàng rắn (蛇郎)	チュル族
15	Lấy chồng rắn (蛇婿と結婚する)	ブル族
16	Người lấy rắn (人間が蛇と結婚する)	マ族
17	Người con gái Mông thứ bảy (ムオンの七つ目の娘)	ムノン族
18	Lấy chồng rắn (蛇婿と結婚する)	モン族
19	Chàng rắn (蛇郎)	モン族
20	Lấy chồng rắn (蛇婿と結婚する)	ラグライ族
21	Sự tích cầu vồng (虹のおはなし)	哈尼族
22	Chàng rắn (蛇郎)	タイ族

4) 中村とも子・弓良久美子・間宮史子「異類婚姻譚に登場する動物—動物婿と動物嫁の場合—」(『子どもと昔話』小澤昔ばなし研究所 編 2001-01) 17-23頁

以上の物語を分析するために、物語を発端、展開、結末という3つの部分にわけて詳しく見てみたい。まず、発端では、蛇はどのように登場するかを見てみると、物語は「蛇との交換の約束」、「人間の女性の蛇子供」、「蛇報恩」、「蛇神と美女との出会い」という4つのパターンで始まることがわかった。この蛇が登場することによって、物語の発展と結末がそれぞれ違うため、ここで各パターンのモチーフ構成を整理し、分析することを試みたい。

1 人間の女性の蛇子供

蛇婿が子のない老夫婦の子供として登場する形式である。子のない夫婦が神様に子受けを祈願すると、蛇息子を生むという。つまり、人間の女性が蛇を妊娠し、蛇が生まれるのである。この形式に属する物語は1話しかみられない。それはキン族の *Hoàng tử rắn và nàng hoa sen* (蛇王子と蓮花娘) である。

事例4 *Hoàng tử rắn và nàng hoa sen* (蛇王子と蓮花娘) (キン族)

昔々、ある土地で、子のない王と女王が、神に子受けを祈願するために出かける。途中で、蛇子供がたくさんいるコブラの洞窟に出会う。女王は一匹の小さな蛇にキスをする。宮殿に戻ると、女王は妊娠し、蛇子供を生む。しかし、蛇が生まれるとき、激しい落雷が起こったので、皆は蛇が怪物であると恐れ、殺すようにと頼む。女王は蛇を殺さないで、大切に世話する⁵⁾。

これは、日本の「異常誕生譚」に属する「田螺息子」に現れている「申し子」のモチーフと類似している。「異常誕生」は、ベトナムの民話の中で、もっともよくみられるモチーフである。蛇婿の物語にはあまりにみられないが、蛙や山羊などの他の動物の異類婚姻の物語に占める割合は非常に高い。このモチーフに属する物語において、主人公の登場する方法は、ほとんど次の4つのどれかに当てはまる。①母親(未亡人または、未婚の女性)は、異物を食べたり、飲んだりしてから妊娠して子供を生む、②母親は、神と直接的、あるいは間接的に接触する(奇妙な足跡を踏むなど)、妊娠して子供を生む、③植物(瓜など)から生まれる、④子のない夫婦がどうしても子供がほしいので、神様に祈願したところ、動物の動物を生む、というのである。ここの *Hoàng tử rắn và nàng hoa sen* (蛇王子と蓮花娘) の物語では、④に当てはまり、蛇は神の申し子である。

表2に示すように、このモチーフの構成はとてもシンプルである。話の構図はたいてい、主人公は蛇の姿で誕生→蛇の皮を脱いで人間になる→女性と結婚する、という展開になっており、ハッピーエンドに終わる。蛇が登場する発端から二人が結婚する結末までのあいだに、なんらかの課題を満たすという条件などは全くなく、蛇が主導的に、結婚する前に人間に変身する。

5) Nguyễn Đông Chi *Kho tàng truyện cổ tích Việt Nam* Hà Nội: Giáo dục, 2000 p. 106-110

表2 Hoàng tử rắn và nàng hoa sen (蛇王子と蓮花娘) の構成

発端	王女が神様に子受けを祈願したところ、蛇子供を生む。
発展	1 蛇が何も食べないので、美しい女性が蛇の餌として宮殿へ連れていかれる。 2 女性が地下室に落ちそうになるとき、人間に変身した蛇に助けられる。
結末	二人が結婚して、幸せな生活を送る。

2 蛇報恩

日本の「蛇婿入」では、「蛙報恩」や「蟹報恩」というサブタイプが存在しているが、中で、死の危険から救われたことに対して恩返しをする蛙や蟹の動物の援助により、蛇との結婚約束を破り、蛇を殺すということについて語っている。それに対して、ここの「蛇報恩」に分類される物語は、女性が田んぼや道で蛇を見つけ、家まで持って帰って、食べ物を食べさせてあげるというものである。この形式も少数で、2話しかみられない。その例を一つあげてみよう。

事例5 Chàng rắn (蛇男) (チュル族)

二人姉妹の家族の妹は、魚を捕まえるために畑に行ったが、午後になっても魚を一匹も捕まえられなかった。家に帰る途中、腐った葉の山の下に埋められた蛇を見た。彼女は蛇を家に持って帰り、自分の部屋で隠し、毎日魚を与える⁶⁾。

表3 「蛇報恩」の構成

発端	女性が田んぼや道で蛇を見つける。蛇を家に持って帰り、食べ物を食べさせてあげる。	
発展	1 夜になると、蛇は皮を脱ぎ、立派な男に変身する。 2 (物語によって有り) 女性が蛇の皮を燃やす。 3 二人が夫婦になる。 4 女性の姉や近所の婆が女性の幸福に嫉妬する。	
結末	1 姉は両親が反対していることを蛇婿に言う。蛇婿が去っていき、女性と別れる。 2 姉は自分のための蛇婿を探しに行くが、本物の蛇に吞まれ、死亡する。	1 女性と蛇婿は幸せ暮らしを送る。 2 近所の婆は自分の娘のために蛇を探してくる。娘は本物の蛇に吞まれ、死亡する。

このタイプの物語では、先ほどのタイプより、登場する人物が増加する。登場するのは女性の姉、または近所の婆と彼女の娘である。これらの人物は女性の幸福に嫉妬し、自分や自分の娘に女性のように立派な婿と結婚できるように蛇を探しにでかけるが、本物の蛇に吞まれ、死亡するという報いを受ける。蛇婿と女性の迎える結末は、このタイプに属する2つの物語では、それぞれ違う方向に発展していく。事例5で紹介した Chàng rắn (蛇男) の物語は、蛇婿と人間との別れで終わるが、チャム族の Trăn thần (蛇神) という物語では、蛇と人間は婚姻継続で幸せな生活を送ることで結末する。また、注意しないと

6) Nguyễn Thị Ngọc Anh, Touneh Nai Chanh, Phan Xuân Viện 編集 *Truyện cổ Churu* (チュル族の昔話) Hồ Chí Minh: Văn nghệ 2006

いけないのは、このタイプで、蛇婿が人間に変身し、人間の姿のままに生き続ける方法は、蛇の皮を火で燃やすということである。

3 蛇神と美女との出会い

これは、美しい女性が蛇神と出会い、二人が相手のことを好きになり、結婚するということについて語る物語である。このタイプに属する物語は2話集めた。

事例6 *Sự tích cầu vồng* (虹の物語) (哈尼族)

村の中の男たちに憧れられる美しい女性は、ある日、畑打ちに行ったとき、非常に優しく健康な男性に出会った。男性は彼女に畑打ちを助けた。二人は仕事をしながら楽しく笑ったり話したりした⁷⁾。

愛という理由で結婚する形式では、蛇婿の結婚する相手は、人間の美しい女性として描かれている。この形式は、キン族の *Người con gái thần rắn* (蛇神の娘) と哈尼族の *Sự tích cầu vồng* (虹の物語) という2話のみにみられるが、これらの物語の発展は全く違うパターンで進めていく。キン族の *Người con gái thần rắn* (蛇神の娘) の場合には、蛇神は人間の美しい女性と恋に落ち、二人は夫婦になり、蛇神のところで一緒に住むと語っている。女性は妊娠するが、蛇神のそばから離れ、自分のところに戻る。翌年の春になると、女性は蛇のところに戻ってきて、娘を一人生む、という⁸⁾。*Sự tích cầu vồng* (虹の物語) では、女性は蛇神と恋に落ちるが、女性の両親はそれを反対し、蛇神を殺す、と語っている。このタイプでは、蛇婿と人間との結婚は、蛇が殺されるか、二人が別れておわるという悲劇な結末である。この点について、日本の「蛇婿入」という話型の結末とかなり類似している。

4 蛇との交換の約束

これは、爺(或いは婆)が様々な理由で、娘を蛇の嫁にやると約束するという形式である。この発端の形式は17話もあり、蛇婿全体のうち、占める割合は一番高いのである。蛇と約束する理由は、爺(或いは婆)が何かやっかいなことに会い、登場する蛇に助けられるか、蛇に生命を脅かされるか、斧などをなくして蛇に返してもらおうか、などいろいろあるが、それぞれの例を見てみることにしよう。

事例1 *Chàng rắn* (蛇男) (ジャライ族)

橋が雨に洗い流されたので、老人は家に帰ることができなかった。川を渡るのを手伝ってくれる者に、娘のうちの一人をやると言った。すると、蛇が現れ横になり、蛇は老人が川を渡るために身

7) ベトナムの古事 *Sự tích cầu vồng* (虹の物語) 2019年11月15日 <<http://truyenxuatichcu.com/co-tich-viet-nam/su-tich-cau-vong-truyen-co-nguoi-dan-toc.html>>

8) ベトナムの昔話 *Người con gái thần rắn* (蛇神の娘) 2019年11月15日 <<https://truyencotich.vn/truyen-co-tich/co-tich-viet-nam/nguoi-con-gai-than-ran.html>>

体で橋を作ってあげた⁹⁾。

事例2 *Hoàng tử rắn* (蛇王子) (サンチャイ族)

ある爺は、川の水を止めて畑を灌漑するために、大きな岩を運んできて、水をさえぎるつもりだったが、そこが蛇の家だとは思っていなかった。蛇は出てきて、爺を呑もうとした。蛇に許してもらうために、爺は娘の一人を蛇の嫁にすると約束した¹⁰⁾。

事例3 *Chuyện chàng Đu Lư* (Đu Lưの物語) (コツ族)

老婆は薪を割るために森林に行ったが、斧をなくしてしまった。蛇が出てきて、斧を返す代わりに老婆の娘を嫁にもらいたいと老婆に言った¹¹⁾。

この形式では、物語のはじまりから異類婚姻の異類は、蛇の姿で登場し、蛇婿の出身などについては言及されない。いずれの理由で蛇と約束しても、最後に必ず爺(あるいは婆)が蛇に自分の娘の一人を嫁にすると約束するという筋へ導く。つまり、結婚する理由に関しては、蛇婿が人間からの「報酬」または「代償」として人間と結婚するというのである。

これは、ベトナムの「蛇婿」のメインパターンとして数多くの物語にみられる。この形式に属する物語の中では、蛇婿の結婚相手は爺(あるいは婆)の末娘になることが一般である。物語によって、ところどころで異なる筋があるが、ほぼ以下のような同じ形式に基づいて発展している。

発展1 爺(或いは婆)は娘たちに頼むと、上の娘たちは反対するが、末娘は蛇の嫁になることを承知する。

蛇と約束した爺(或いは婆)は娘たちに頼むという筋は、この形式の物語の全部にみられるのである。物語によって、娘の数は二人、三人から十一人までもあるが、どんな場合においても、蛇の嫁になることを承知するのは末娘しかない。蛇の求婚を承知する理由は、だいたい親に対する道徳的・倫理的な要求に基づく。

発展2 結婚の当日、或いは結婚後、蛇が皮を脱いで立派な男になる。二人は幸せな生活を送る。(子供を生む場合もある)

中村らによれば、日本の「蛇婿入り」の場合には、蛇が皮を脱ぎ、人間に変身することと、事実上の結婚をすることとのあいだには、相関関係があると指摘されている¹²⁾。つまり、変身する比率が高ければ、事実上の結婚をする比率も高くなり、動物と人間の事実上の結婚が成立するためには、

9) Phan Trọng Thường, Nguyễn Cừ *Tuyển tập văn học dân gian Việt Nam, tập II, quyển 1* Hà Nội: Giáo dục, 2007

10) Đặng Nghiêm Vạn, Lê Trung Vũ, Nguyễn Thị Huệ, Đỗ Hồng Kỳ, Đặng Thị An, Tăng Kim Ngân *Tổng tập văn học các dân tộc thiểu số Việt Nam Đà Nẵng: Đà Nẵng, 2002*

11) ベトナムの昔話 *Bơ Lô Đu Lư hay Truyện trầu cau* 2019年11月15日 (<https://truyencotich.vn/truyen-co-tich/co-tich-viet-nam/bo-lo-du-lo-hay-truyen-trau-cau.html>)

12) 中村とも子・弓良久美子・間宮史子「異類婚姻譚に登場する動物—動物婿と動物嫁の場合—」(『子どもと昔話』小澤昔ばなし研究所 編 2001-01) 17-23頁

動物が人間に変身しなくてはならないというのである。これに反して、ベトナムの「蛇婿」では、動物が人間に変身するのは結婚の必須条件ではなく、動物の姿のまま人間と結婚する場合が多い。次に例をあげてみよう。

事例7 *Nàng Pia rơ chôm* (Pia rơ chôm という娘) (タオイ族)

蛇の家に行く途中、小川を通すと、蛇は Pia rơ chôm に水洗いをしようと言った。蛇は上のところで浴び、Pia rơ chôm は下で浴びた。すると、蛇は立派な男になった¹³⁾。

事例8 *Chàng rắn* (蛇郎) (サンチャイ族)

妻のルイと一緒に水洗いに行った蛇は、立派な男に変身した¹⁴⁾。

蛇が人間に変身する方法は、殆ど水洗いか、皮を燃やすかのどちらかのである。上記で述べた事例では、蛇の皮脱ぎは、水と深い関係があるが、他に、皮を燃やす火に関連性がある場合も少なくない。また、結婚後、蛇と末娘は蛇のところへ行く場合が多い。その場所も水の中にある宮殿などで、蛇と水との密着な関係を表している。

加えて、日本の「蛇婿入」では、娘が結婚の約束を破り、媒略を用いて蛇を殺し、家に帰るという蛇退治へ発展することが多い。これに対して、ベトナムの「蛇婿」の物語では、娘が必ず約束を守り、蛇と結婚し、この蛇退治ということは存在しない。

発展3a 姉が妹の幸福を嫉妬するために妹を殺すか、不利を被せる。

前述のように、ベトナムの「蛇婿」では、末娘はよく蛇と結婚し、蛇のところへ行くので、実家に帰る筋がよく出て来る。ここで、姉たちが妹の幸福を嫉妬し、妹の代わりに蛇の嫁になるために、妹に不利なことを被せるか、妹を殺すことがある。殺す方法は、妹を川などへ押し込む方法など、殆ど水死させて殺害するのが一般的である。

事例9 *Chàng rắn* (蛇郎) (ジャライ族)

姉は末娘の夫を奪うために、川にレモン摘みに行くように誘う。二人はナイフと塩を持って行く。姉が末娘を水の中に押し込むが、ナイフと塩を保持したまま、末娘は大きな魚に飲み込まれる。末娘は魚の腹の中で、息子を産む。親子はナイフで魚の腹を切り、そこに塩をこすりつける。魚が死んだ後、親子は上陸し森に行き、一時的な生活を送る¹⁵⁾。

結末は、上記で紹介した物語のように、末娘は死から逃がれ、様々な困難を超え、蛇婿と再会するこ

13) Nguyễn Thị Hòa *Truyện cổ Tà ôi* Hà Nội: Giáo dục 2004

14) Phan Trọng Thuồng, Nguyễn Cừ *Tuyển tập văn học dân gian Việt Nam, tập II, quyển 1* Hà Nội: Giáo dục, 2007

15) Phan Trọng Thuồng, Nguyễn Cừ *Tuyển tập văn học dân gian Việt Nam, tập II, quyển 1* Hà Nội: Giáo dục, 2007

とができるようになるか、殺された場合でも様々な動物や植物に転生して、姉を困らせ、最後に蛇婿の援助で生き返ることができるようになる。妹の転生においては、物語によって、異なる動物や植物などに転生し、転生数もそれぞれ違う。例えば、ムノン族の *Người con gái Mnông thứ bảy* (ムノンの七番目の娘) では、妹は「小鳥→竹→竹の水筒」という3回も生まれ変わる。最初に小鳥に生まれ変わり、姉の悪事をさえずると、姉は小鳥を殺して煮る。姉が小鳥の肉を捨てると、そこで竹が生える。姉が水筒を作るために竹を切る、という¹⁶⁾。一方、チャム族の *Chàng rắn* (蛇郎) の場合には、妹は一回小鳥に転生した後、すぐ蛇婿に再開し、人間の姿に戻ることができる、という¹⁷⁾。この転生というモチーフは中国の「蛇郎」と類似している点が多いため、比較研究を今後の課題にしたいと考えている。

発展 3b 姉や近所の女性が妹の幸福を嫉妬し、自分のために蛇婿を探しに出かける。

ここでは、姉や近所の女性は森の奥に行き、蛇を婿にするため、出かけるという筋は6話に見つかる。物語は、展開 3b の方に進めていくと、一般的な発展は、姉や近所の女性が妹の幸福を嫉妬するため、妹と同様、蛇の婿を見つけようとする。結末では、彼女たちは、いつも本物の蛇に呑まれることになってしまう。しかし、その後、蛇婿が本物の蛇を殺すことにより救われることは一般的な結末である。

どちらの方向に展開しても、最後の結末は娘と蛇婿は、婚姻継続で終わるというものである。

このように、「蛇との交換の約束」はベトナムの「蛇婿」の発端のもっとも一般的な形式であることがわかった。また、ここで交換するのは、娘の一人を蛇の嫁にやることである。日本の「蛇婿入」の、針糸型や立ち聞き型、蛙報恩型、蟹報恩型、鷺の卵型のもっとも大きなサブタイプは、ベトナムの「蛇婿」にはみられないということも明らかになった。

三 蛇婿物語にみられるベトナムの文化

ベトナムの「蛇婿」は、どのような特徴を持っているかを、話の筋の展開に沿って分析し、またそれらの文化背景をさぐってみる。

1 蛇婿の出身

多くの物語では、蛇婿の正体は蛇神、または水神の息子などであるが、これはベトナム人の蛇信仰に関連付けられる。昔から蛇は水神や川神として、ベトナムの各地で崇拝されていることに由来するだろ

16) Đặng Nghiêm Vạn, Lê Trung Vũ, Nguyễn Thị Huệ, Đỗ Hồng Kỳ, Đặng Thị An, Tăng Kim Ngân *Tổng tập văn học các dân tộc thiểu số Việt Nam* Đà Nẵng: Đà Nẵng, 2002

17) Đặng Nghiêm Vạn, Lê Trung Vũ, Nguyễn Thị Huệ, Đỗ Hồng Kỳ, Đặng Thị An, Tăng Kim Ngân *Tổng tập văn học các dân tộc thiểu số Việt Nam* Đà Nẵng: Đà Nẵng, 2002

う。

他には、男がなぜ蛇の姿で登場するかという理由を語らないが、蛇の皮を被るのは結婚の試練だと考えられる。結婚後、蛇が妻を誘惑するために密かに美しい男に変身するという筋は、物語の中でよくみられるが、結婚相手である女性たちは忠実であるため、すべて失敗するのである。したがって、男が蛇の姿で登場するのは、女性たちの心の美しさを確認する挑戦である。例えば、*Chàng rắn* の中で、若い立派な男に誘惑された時、娘は「私の夫は蛇だが、永遠に彼に忠実で生きている」としっかりと言った、という。また、嫁の忠誠心を確かめるためという理由とは別に、蛇は人間と神の境界でもある。蛇の皮を脱ぐと、人間と神は、より親しみやすくなる。これは神に近づくことができるという人間の夢を表わしているのだろう。

2 結婚と蛇の変身との関係

ベトナムで「蛇婿」によく出て来る筋は、婿は蛇の皮の脱ぎ、人間に変身するというのである。蛇は結婚する前に人間に変身するか、蛇の姿のままで結婚するかのどちらかになる。考察した物語の22話の中で、蛇婿は、蛇の姿と人間の姿のあいだで自由に変身するのは2話、結婚前に人間の姿に変身するのは5話、結婚当日や結婚後に人間の姿に変身するのは15話である。この結果によれば、蛇が結婚当日や結婚後に人間の姿に変身する物語は圧倒的に多い。つまり、蛇の変身によって結婚することへの影響は多くないといえるだろう。これは日本の「蛇婿入」とは相違していると考えられる。日本の場合には、動物が変身することと、人間と事実上の結婚をすることのあいだには相関関係があるようである。つまり、変身する比率が高ければ、事実上の結婚をする比率も高くなると指摘されている¹⁸⁾。

一方、蛇婿が人間の姿に変身し、維持するために、蛇の皮を火に入れて燃やすか、水洗いし流すか、という二つの方法がある。結婚前に変身する場合は、蛇の皮を火で燃やすことが多いことに対して、結婚後に変身する場合には蛇が嫁を自分の家へ連れていく途中で、川や泉で水洗いして蛇の皮を流すことが多い。これは水と火のイメージを借用し、ベトナム人の民間信仰として表れるのである。それは火の神への敬意と崇拝である。火は再生の象徴、そして人間の存在に重要な要素であるため、蛇の皮を投げることに結び付く。一方、水は蛇と深い関係を持ち、蛇の成長環境であるため、蛇の皮を脱ぎ、元の姿に戻るには水洗いが必要だと考えられる。水洗いはベトナムの大事な儀式でもある¹⁹⁾。

3 蛇と人間との結婚

「蛇婿」物語のなかでの結婚は、蛇と人間との異類婚姻である。考察した「蛇婿」の22話のすべてで、蛇と人間の女性が事実上結婚をするということがわかった。

結婚する理由をまとめると、①蛇は人間からの「報酬」または「代償」として人間と結婚する、②蛇

18) 中村とも子・弓良久美子・間宮史子「異類婚姻譚に登場する動物—動物婿と動物嫁の場合—」(『子どもと昔話』小澤昔ばなし研究所 編 2001-01) 17-23頁

19) Đặng Thu Hà, (2006), Sự phản ánh một số nghi lễ và phong tục cổ xưa trong kiểu truyện cổ tích về đề tài người lấy vật, Tạp chí nghiên cứu văn học số 3.

は人間への報恩のために人間と結婚する、③蛇と人間との愛で結婚する、という3つに分けられる。

結婚する相手は、だいたい末娘や美女である。末娘と結婚するのは、この「蛇婿」のもっとも一般的なパターンである。あまりにも醜い姿で登場するので、蛇婿は常に人間に拒否される。この点は、物語の中に登場する爺(あるいは婆)の上の娘たちの態度からわかる。異類であるという理由は、その態度の原因へ繋がると考えられる。そのため、蛇婿の求婚は、上の娘たちに断われ、蛇の嫁になることを承知するのは、末娘たちしかいない。ここの末娘は、事情や外見、社会地位などの差にもかかわらず、純粹や無利益という理想的な結婚相手を象徴すると指摘されている²⁰⁾。

また、水神を象徴する蛇と人間との結婚では、現実の生活は非常に困難であるため、貧しい人々は常により良い生活を送れるというベトナム人の夢を示している。神との結婚は、美しい夢であり、それが起こると、人間は現在の困難な生活から逃げ出すことができる。この「蛇婿」の物語では、蛇婿と結婚した後、嫁たちはすべてより豊かになり、家族の生活も以前より充実になるという筋が物語の中で言及されている。

ベトナム人、特に少数民族の人々は、蛇婿の物語に、親切な人々の幸せな生活への願望を込めたといえる。それは、美しい、親切な女性は、希望に応じ、常に結婚生活で幸せを見出すことができるというのである。少数民族に近い神聖な動物である蛇は、コミュニティの女性に幸せをもたらす、神の世界の理想的な夫であるという使命を持つ立派な男として擬人化されている。蛇と人間との結婚は、自然と人類を統合する夢を表わしているといえる。このような物語に登場する立派な男である蛇婿は、美しくて穏やかな自然を象徴しているに違いないだろう。

4 蛇婿の結末

ベトナムの「蛇婿」では、蛇婿の迎える結末に関しては、蛇と嫁が幸福に婚姻継続で終わるのがほとんどである。これもベトナムの昔話によくみられる傾向である。貧しくてよい人たちは必ずよい結末を迎えることができるというものである。

一方、貧しくて親切な人々がより良い生活を過ごすことができる夢に加え、蛇婿物語では、悪者が処罰されるという社会における正義の夢も見ることができる。これは、ベトナムの家族関係や社会関係の矛盾を反映する、昔話の特徴的な構成である。もっとも一般的な筋は、姉(あるいは近所の女性)が妹の幸福に嫉妬し、妹のように蛇婿と結婚し、豊かな生活を過ごせることを望むというものである。ここで、物語の発展は上記で述べたように、森のところに行き、自分のために蛇婿を探すのか、妹を殺害するのか、という二つのパターンに分かれ、進められていくが、どちらにしても、姉(あるいは近所の女性)は適切な報いを受けるといって結末に繋がる。このモチーフもベトナムの「蛇婿」の特色であると考えられる。

20) Đỗ Thị Thu Hương *Kiểu nhân vật mang lột rắn và chim trong truyện cổ tích thần kỳ Việt Nam* (ベトナムの昔話における蛇・鳥と人間との婚姻譚) Hà Nội: Đại học Sư phạm Hà Nội, 2013 p. 47-52

おわりに

本稿では、ベトナムの婿としてあらわれる蛇と人間の女性との婚姻について語る「蛇婿」という物語を考察して、その話型のモチーフ構成や、特徴、文化背景などを明らかにした。

この話型の22話を考察した結果によると、蛇婿の登場し方によって、物語の展開と結末はそれぞれ違う方向に進んでいくことがわかった。ほとんどの物語では、蛇と人間と結婚する理由は、人間から「報酬」と「代償」として結婚する。結婚する相手はやさしい末娘であることはよくみられる。また、「蛇婿」での結婚は、蛇と人間との結婚であるが、蛇が人間に変身してから結婚することより、蛇の姿そのまま結婚してから人間の姿に戻ることが圧倒的に多い。つまり、蛇の変身と結婚することにはあまり影響を及ぼさないということである。物語の結末においては、よい人である末娘は、蛇婿と一緒に幸福な暮らしを送るというハッピーエンドに反して、悪者である姉たちなどは自業自得な報いを受ける、というベトナム人の正義感も物語の中に編み込まれる。この「蛇婿」の物語を通じ、ベトナム人は蛇など自分に身近な動物への観念を表すとともに、自然環境に依存して、自然に近づくという夢も表わしているのだろう。

今回は、考察した物語の数があまりにも少ないため、この話型の各地域の相違点と特色などは未だに分析できない。また、日本や中国など、ベトナムの文化に近い国において、この「蛇婿」ではどのような共通点と相違点があるかもまだ触れることができていないため、今後の課題にしたいと考える。